

(5)

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-165739

(43)Date of publication of application : 22.06.1999

(51)Int.Cl.

B65D 27/00

(21)Application number : 09-344186

(71)Applicant : DAINIPPON PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 28.11.1997

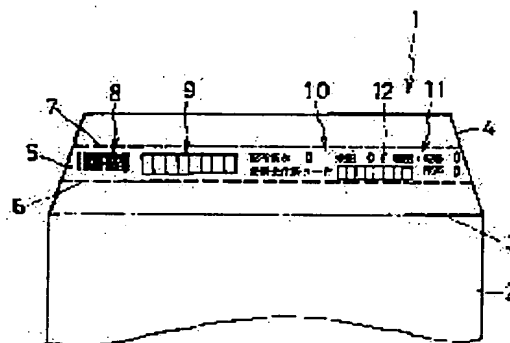
(72)Inventor : OSHIMA NOBUHIKO

## (54) ENVELOPE WITH INFORMATION FLAP

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To simplify operation for feeding back delivery information such as direct mails to customer data to achieve efficient customer management and distribution management.

**SOLUTION:** An information fill-in part 5 which can be cut via perforations 6, 7 is provided on a flap 4 of an envelope 1, and an adhesive is applied on a rear of the flap 4 except a part corresponding to the information fill-in part 5. At the time of home delivery, a deliverer fills in delivery information such as a date, a delivery result or a reason for not having delivered in a date column 9, a delivery result column 10, a reason column 11 and a new address column 12 in predetermined formats and cuts as an information flap piece from the perforations 6, 7 for bringing back. Thus the delivery information can be directly read from the cut information flap piece by a bar code reader, an OCR, an OMR or the like to be taken into a computer database.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

22.11.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-165739

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月22日

(51) Int.Cl.<sup>9</sup>

B 6 5 D 27/00

識別記号

F I

B 6 5 D 27/00

E

F

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-344186

(22) 出願日 平成9年(1997)11月28日

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 大嶋 信彦

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

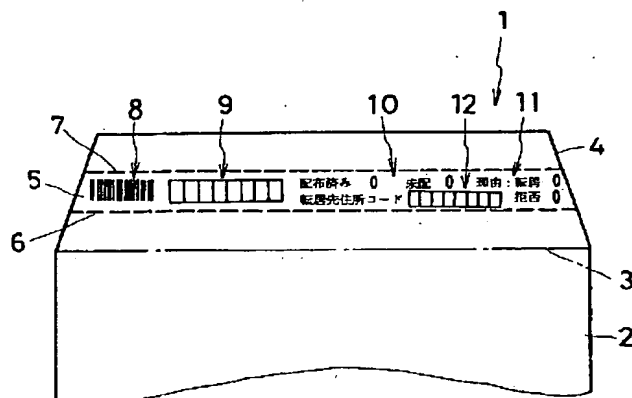
(74) 代理人 弁理士 進藤 純一

(54) 【発明の名称】 情報フラップ付き封筒

(57) 【要約】

【課題】 ダイレクトメール等の配送情報を顧客データへ反映させるための作業を簡便なものとし効率的な顧客管理および物流管理ができるようにする。

【解決手段】 封筒1のフラップ4にミシン目6, 7により切り離し可能な情報記入部5を設け、情報記入部5に対応する部分を除いてフラップ4の裏面に接着剤をコーティングする。そして、宅配の際に配布者が日付、配布結果、未配布の理由等の配布情報を情報記入部5の日付記入欄9、配布結果記入欄10、未配理由記入欄11および転居先情報記入欄12に所定の態様で記入し、情報フラップ片としてミシン目6, 7により切り離して持ち帰ることにより、その切り離した情報フラップ片からバーコードリーダー、OCR、OMR等で配送情報を直接読み取らせコンピュータのデータベースに取り込めるようにする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 宅配もしくは郵送により特定顧客宛に配布する封筒であって、封筒本体の上端に折り罫を介して連設された封止用のフラップの表面に光学式読取り装置により読み取り可能な態様で配送情報を印字あるいは記入する情報記入部を設け、該情報記入部に対応する部分を情報フラップ片としてフラップ本体から切り離し自在としたことを特徴とする情報フラップ付き封筒。

【請求項2】 前記情報記入部は、顧客データ印字欄、日付記入欄、配布結果記入欄、未配理由記入欄および転居先情報記入欄を有する請求項1記載の情報フラップ付き封筒。

【請求項3】 前記情報記入部の顧客データ印字欄には、顧客データがバーコードで印字される請求項2記載の情報フラップ付き封筒。

【請求項4】 前記情報記入部は、前記フラップの折り罫側および先端側に所定幅を残して2本のミシン目により帯状に切り取り可能に設けられ、該情報記入部を除く前記フラップの折り罫側および先端側の裏面には接着剤がコーティングされている請求項1、2または3記載の情報フラップ付き封筒。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、特定顧客宛に配布するダイレクトメール等の封筒に関し、特に、顧客名、配布日付、配布済み、未配、未配理由、転居等の配送情報を顧客データベースへ取り込む作業が簡便な情報フラップ付き封筒に関する。

## 【0002】

【従来の技術】商品の宣伝等のため宅配（民間宅配業者による配送）あるいは郵送により特定顧客宛にカタログ等の印刷物を配布するダイレクトメールにおいては、例えば宅配の場合、配布状況の追跡等のため、各業者がそれぞれ独自の方法により物流ルート上で顧客名、配布日付、配布済み、未配、未配理由、転居等の配送情報を記録してフィードバックしている。例えば、配布者が現場で顧客名、配布日付、配布済み、未配、未配理由、転居等の情報をメモに記入し、持ち帰ることによりフィードバックが行われる。一方、郵送の場合は、配達できなかった場合に返送されるだけである。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】宅配によるダイレクトメールの場合、上述のように配布者が現場で配送情報をメモに記入しフィードバックすることによって配布状況の追跡は一応できるが、例えば、次回発送分顧客の選択等の顧客情報の修正等を可能にするよう配送情報を顧客データベースに取り込もうとすると、配布者が現場で記入し持ち帰ったメモを見てオペレータが手作業で情報を入力するか、メモに記入された情報を一旦データシートに書き写し、そのデータシートをバーコードリーダー、

OCR（光学式文字読取り装置）、OMR（光学式マーク読取り装置）等により読み取らせるしかなく、いずれにしても、顧客データベースへ取り込む作業が膨大で、現実には実施困難であった。また、郵送によるダイレクトメールの場合も、返送されたものについては未配と確認でき、未配情報を顧客データに反映させることもできるが、その作業は煩わしいもので、やはり現実には実施困難であった。

【0004】このように、従来は配送情報を顧客データへ反映させるための作業が膨大でありあるいは煩わしいものであった。したがって、配送情報を顧客データへ反映させるための作業を簡便に行うことができるようにし、効率的な顧客管理および物流管理を可能とすることが課題である。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、宅配もしくは郵送により特定顧客宛に配布する封筒を、封筒本体の上端に折り罫を介して連設された封止用のフラップの表面に光学式読取り装置により読み取り可能な態様で配送情報を印字あるいは記入する情報記入部を設け、該情報記入部に対応する部分を情報フラップ片としてフラップ本体から切り離し自在とした情報フラップ付き封筒とすることにより上記課題を解決したものである。

【0006】この情報フラップ付き封筒において、情報記入部は、例えば顧客データ印字欄、日付記入欄、配布結果記入欄、未配理由記入欄および転居先情報記入欄を有するものとするのがよい。

【0007】情報記入部の顧客データ印字欄には例えばバーコードで顧客データを印字する。

【0008】また、この情報フラップ付き封筒は、情報記入部が、フラップの折り罫側および先端側に所定幅を残して2本のミシン目により帯状に切り取り可能に設けられ、該情報記入部を除くフラップの折り罫側および先端側の裏面には接着剤がコーティングされているものとするのがよい。

【0009】この情報フラップ付き封筒は、顧客名等の顧客データをバーコード等で予めフラップの情報記入部に印字しておく。また、宅配により配布する場合、日付、配布結果（配布済みあるいは未配布）、未配布の理由（転居、拒否）等の配布情報は、配布者が配布先で情報記入部の所定欄にOCR、OMR等で読み取り可能な所定の態様で記入する。そして、配布者は、記入済みの情報記入部を情報フラップ片としてフラップ本体から切り離して持ち帰る（未配のものは切り離さずに持ち帰るようにしてもよい）。

【0010】この情報フラップ付き封筒は、フラップの折り罫側および先端側に所定幅の接着部を残して2本のミシン目により切り取り可能に帯状に情報記入部が設けられ、折り罫側および先端側の裏面に接着剤がコーティングされたものである場合、フラップは折り罫で折って

封筒本体に接着することができ、また、接着し封止した状態で情報記入部をミシン目により帯状に切り離すことができる。

【0011】そして、持ち帰った情報フラップ片は、そのままバーコードリーダー、OCR、OMR等で読み取らせることができ、そのデータを専用ソフトにて分析して顧客データに反映させることができる。また、郵送により配布する場合は、返送されたものについて、フラップの情報記入部に未配を記入し、それを読み取らせることで、データ修正、データ削除等の処置が可能である。

#### 【0012】

【発明の実施の形態】図1および図2に本発明による情報フラップ付き封筒の一例を示す。図1は封筒の上部表面図、図2は同上部裏面図である。

【0013】封筒1は、封筒本体2の上端に折り罫3を介して封止用のフラップ4が連設されている。そして、このフラップ4には、折り罫3側および先端側に所定幅を残してその間を帯状に切り取り可能な情報記入部5とするよう2本のミシン目6、7が設けられている。そして、その帯状の情報記入部5の表面には、顧客データ印字欄8、日付記入欄9、配布結果記入欄10、未配理由記入欄11および転居先情報記入欄12が設けられている。また、フラップ4は、情報記入部5の両側の折り罫3側および先端側の裏面が接着部13、14とされ、これら接着部13、14には、ミシン目6、7にかからない範囲（図2に格子状のハッチングで示す範囲）に接着剤がコーティングされている。

【0014】顧客データ印字欄8には、宛て先顧客名等の顧客データがバーコード等で予め印字される。また、日付記入欄9には、配布の日付を示す数字を現場で記入するよう枠が印刷されている。そして、配布結果記入欄10には、配布済みの場合に塗り潰すマークと未配の場合に塗り潰すマークが印刷されている。また、未配理由記入欄11には、転居の場合に塗り潰すマークと受取拒否の場合に塗り潰すマークが印刷されている。そして、転居先情報記入欄12には、転居先住所コードを記入する枠が印刷されている。

【0015】この封筒1は、内容物を入れ、フラップ4を折り罫3で折って接着部13、14にて封筒本体2に接着することにより封止し、宅配あるいは郵送にて各顧客宛に配布する。そして、宅配により配布する場合は、配布者が配布先で、情報記入部5の日付記入欄9、配布結果記入欄10、未配理由記入欄11および転居先情報記入欄12に、日付、配布結果（配布済みあるいは未配布）、未配布の理由（転居、拒否）等の配布情報を所定の態様で記入する。そして、配布者は記入済みの情報記入部5をミシン目6、7により帯状にフラップ本体2から切り離し、情報フラップ片として持ち帰る。ただし、未配のものについては情報記入部5を切り離さず封筒1ごと持ち帰ってもよい。

【0016】情報フラップ片は、情報記入部5のデータをバーコードリーダー、OCR、OMR等で読み取らせ、コンピュータのデータベースに取り込む。顧客データ印字欄8にバーコードが印字されているものでは、バーコードリーダーによって顧客データを読み取ることができる。また、日付記入欄9に数字で記入された日付と、転居先情報記入欄12に英数字で記入された転居先住所コードは、OCRで読み取ることができ、配布結果記入欄10の配布済みあるいは未配を示す塗り潰されたマークと、未配理由記入欄11の転居あるいは拒否を示す塗り潰されたマークは、OMRで読み取ることができる。

【0017】そして、その取り込んだデータを専用ソフトにて分析することで、配布状況の追跡や次回発送分顧客の選択等を効率的に行うようにできる。

【0018】また、郵送により配布する場合は、返送されたものについて、情報記入部5の配布結果記入欄10の未配を示すマークを塗り潰し、それを読み取らせてデータ修正、データ削除等の処置を行うようにできる。

【0019】このようにフラップから切り離した情報フラップ片からデータを直接読み取らせることができるので、記入したメモを見てコンピュータに入力したりデータシートに書き写して読み取るというような煩わしい作業から解放され、配送情報の顧客データへの反映を簡便に実現できる。

【0020】なお、情報記入部に印字あるいは記入するデータは上の例に限られるものではなく、印字欄あるいは各記入欄の配置も上の例に限られるものではない。また、各データの印字あるいは記入の態様も、バーコードリーダー、OCR、OMR等の光学式読取り装置により読み取り可能なものであればよく、上の例に限られるものではない。

【0021】また、情報記入部を切り離し自在とする構成も、上の例のように2本のミシン目を設ける以外に様々な態様が可能である。

【0022】その他、本発明は様々な形態で実施できるものである。

#### 【0023】

【発明の効果】本発明の情報フラップ付き封筒によれば、宅配の場合に配布者がフラップの情報記入部に配送情報を記入して、そのフラップの情報記入部に記入された情報をそのままバーコードリーダー、OCR、OMR等の光学式読取り装置に読み取らせ、専用ソフトにて分析して顧客データに反映させるようにでき、また、郵送の場合は、返送されたものについて、フラップの情報記入部に未配を記入し、それを読み取らせることで、データ修正、データ削除等の処置を行うことができるため、記入したメモを見てコンピュータに入力したりデータシートに書き写して読み取るというような煩わしい作業から解放され、配送情報の顧客データへの反映を簡便に実

5

現でき、効率的な顧客管理および物流管理が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による情報フラップ付き封筒の上部表面図である。

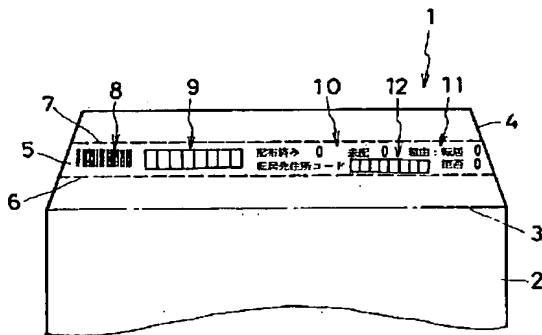
【図2】本発明による情報フラップ付き封筒の上部裏面図である。

【符号の説明】

- 1 封筒（情報フラップ付き封筒）  
2 封筒本体

- 3 折り罫  
4 フラップ  
5 情報記入部  
6, 7 ミシン目  
8 顧客データ印字欄  
9 日付記入欄  
10 配布結果記入欄  
11 未配理由記入欄  
12 転居先情報記入欄  
10 13, 14 接着部

【図1】



【図2】

